



経済産業省「第12回キャリア教育アワード中小企業の部」で奨励賞を受賞



ひふみコーチ for School

”おとなっておもしろい!”

大人の楽しさを君に伝えたい!



あらゆる人の一番の幸せをさがそう

「学校SDGs普及委員」(月会費550円)募集中!

- ・学校SDGs普及委員は、MIRAI Map Project 2020-30を支えます。
- ・学校SDGs普及委員は、子どもたちの未来を応援することができます。
- ・応援者として、実施報告書(兼 収支報告書)にお名前が記載されます。

ご登録は、こちらから。→

<https://happiness.123-coach.com/mirai-map>



学校SDGs普及委員(令和4年3月末時点)

津村征広/水木慈恵/川原洋子/村上桃香/市川律子/饗庭貴子/加茂有美/岩崎笑美/西野靖江/新藤美貴子/郷薫/植村美枝/瀧崎優佳/遠山昌子/柴田智美/三上智則/本田善子/古賀昌代/藤岡登美子/久保寺信一/鈴木恵美子/鳥谷部愛/青山里恵/野間英香/藤田恵/小川智美/西村昂介/渡部友紀/那須真季/佐藤紀子/シユラム麻美/脇田康二郎/星亜香菜/望月愛日/古浦枝里/松山剛士/角素子/清水博子/岩澤佳子/高野亜紀子/河本やす代/池崎晴美/土屋裕樹/阿曾朋子/鈴木祐子/印田敦子/長谷川恵美/柏木博州/杉本ひとみ/波多江愛/大竹由美子/鈴木昌美/杉山由里子/萩原恭子/花谷美香/秋橋仁美/市川慶輔/吉原伸於/川口千恵子/荒川真由/荒川純一/大槻佐智子/廣瀬千子/富岡旭美/駒走好恵/末広成志/山崎由季子/玉元宗児/中村純子/對川道香/秋田稲美

学校ICT活用のご相談を承っています! 『zoomはじめました』

著者: 秋田稲美

子どもへの熱い思いが溢れる先生方へ。

双方向の授業がしたい。ITを活用した授業がしたい。主体的に「学びたい!」という気持ちに応えたい……。これからの教育を考える時、子どもたちを応援する熱い思いが溢れるものの……。事例が少ない。現状を変えられない。何から手を付けていいのかわからない。などの理由から、一歩踏み出せない先生もいらっしゃると思います。そんな先生方の良きコーチでありたい。というのが、私たちの夢です。ぜひ、ひふみコーチfor schoolのメンバーになってください。志を同じくする仲間と共に「これからの教育」を一緒につくっていきましょう。



自分と社会の探究学習 未来マップ授業

<https://happiness.123-coach.com/mirai-map/school@123-coach.com>

未来マップ ファシリテーター養成講座

<https://happiness.123-coach.com/mirai-map-ft>



令和4年度

報告書

夢 × SDGs = MIRAI Map



経済産業省「第12回キャリア教育アワード」奨励賞を受賞

自分と社会の探究学習 未来マップ授業

ICTとアクティブラーニングを組み合わせた学習法により、自己肯定感を育み、未来に向けてどう進めばいいかを自分で考え、主体的に行動することを目指すキャリア形成プログラム。小学生～高校生までが対象。アサーション・コーチング体験、自己理解・他者理解を深めるワーク、SDGsをテーマにしたグループ対話を通じて、自分と社会を探究し、学習成果物として、四方よし（自分/他者/社会/地球）となるビジョン（夢）を可視化した未来マップを作成・発表する。

■今後の取り組み 最新の「暮らしと意識に関するNHK・JILPT共同調査（独立行政法人労働政策研究・研修機構）」によると、「親より豊かになれない」と答えた20歳～34歳が34%、そのうち67%が「努力しても豊かになれない。」と回答している、つまり、将来に希望が持てない若者が増えている現状が我が国にあることがわかります。これまで将来に希望が持てない時代は過去に幾度となくありましたが、明治維新に代表されるように、志（こころざし）をもった若者が新しい時代をつくってきたという歴史があります。

未来マップ授業は、子どもたちの中にある志（こころざし）（＝世界は自分たちの力で変えることができるという原動力）を明らかにし、それを可視化することができる教育プログラムとして設計しており、将来目標を「世界中の子どもたちが、未来は自分の力で創造することができるという希望をもっている」と定めています。

その目標に向かって、社会や世界との接点を子どもたちに実感を持って体験してもらうため、インクルーシブ教育事業とコラボした未来マップ授業、日本とルワンダの中学校をオンラインでつなげ、国際交流を組み込んだ未来マップ授業等を実施しています。

今後は、このような教室と外の世界や社会をつなげる授業展開にも力を入れていきます！



東京で行われた表彰式の様子



ICTとアクティブラーニングを組み合わせた学習法は、これからの学校が目指すべき教育効果の高い手法

■キャリア教育アワードとは

経済産業省が企業や経済団体による教育支援の取組を公募し、優秀と認められる事例を表彰するものです。産業界による優れた教育支援活動の取組と効果を広く社会で共有し、こうした活動を奨励・普及・促進することを目的として実施されています。

■審査における評価コメント

コーチングという1対1の双方向コミュニケーション手法をベースとしつつ、GIGAスクール・ICTの活用やSDGsなど最近のトレンド（課題）も意識した複合的なプログラムは評価できる。

- ・ 目的目標がとても明確。
- ・ プログラム内容の改善を継続している点が素晴らしい。
- ・ ファシリテーターを中心とした指導体制が整えられ、子供たちに適切な支援・助言が与えられることが素晴らしい。
- ・ ワークブックやタブレット等も最大限に活用することで現在の教育課題の解決に向けた取組みとなっている。
- ・ ICTとアクティブラーニングを組み合わせた学習法は、まさにこれからの学校が目指すべき教育効果の高い手法である。
- ・ フレームもしっかりとしており、海外とのかかわりを目指すところも広がり期待させる。



ルワンダ共和国 Hanika satellite校 x 日本の中学生 SDGsプロジェクト2022

【日本】名古屋市立八幡中学校 土屋裕樹

国語科×総合的な学習の時間を活用し、ルワンダとの交流授業をすることになりました。有志生徒を募ったところ、25名が参加してくれました。それぞれの希望をもとに「日本の紹介」「八幡中の紹介」「質問と英会話」の3チームに分かれて事前準備を行いました。自ら翻訳してスピーチ練習をした英語や、伝わりやすい画像を見せながらのプレゼンなど、「工夫しながら、楽しみながら、主体的に」活動していました。バックグラウンドが随分と異なる中学生同士がコミュニケーションできるってすごい。この夢のような企画が実現できたことが夢のようです。

【ルワンダ共和国】ハニカ分校 千葉裕子（NGO職員）

「好きな食べ物はなんですか」という質問の回答で日本の子供たちは寿司・ラーメンなど料理名で、ハニカ村の子どもたちはキャッサバ芋、豆など材料名でした。ちなみに彼らの給食は、煮たささげ豆とご飯（日本円10円程）です。「どこの国へ行ってみたいですか」という質問の後沈黙があったのは、ハニカ村から出たことも、地図を見たこともない子供たちにとって、質問そのものがわからなかったからでした。おそらく想像するのも難しかったと思います。「例えばゴロレロの街とかどこでもいいよ」と助け舟を出すと、キガリ（首都）には行ってみたいとの答えが出ました。キガリなら身近な大人の話になったこともあるかもしれません。



【生徒へのインタビューより】

『14年間しか生きていないけど、最高の経験をしました。特別な経験ができました』

『今回は、有志生徒だけだったけど、今度は、学校全体の子たちにも外国の子どもたちと交流できる機会があるといいと思った』

『自分は、英語が好きな方ではあるけれど、やっぱり（伝えるのは）難しいな、と思った』



タイ王国 虹の学校 x 日本の中学生SDGsプロジェクト2022

【学校名】愛知教育大学附属名古屋中学校 【参加人数】3年生 21名

【実施の経緯】「学校や企業、社会の抱える問題を解決しよう」という総合学習の一環

【工夫したこと】お互い事前に用意したものを発表して終わるような表面的な交流ではなく、心と心が通い合う交流になるよう心がけました。事前授業では、毎回同じグループで対話を重ねることで、回を重ねるごとにお互いのことを深く知ることができました。交流1回目は、虹の学校がどのような学校でどんな思いで作られたのか、片岡副校長にお話をいただき、2回目は「音楽は何を聞くの?」「推しは誰?」といった質問を通して、お互いのことをもっと知りたいという思いが芽生えました。3回目はお互い撮った動画を見せ合ったり、虹の学校の生徒から挙げたテーマについて対話したりしました。4回目は、①ゴミ処理場がないことによるポイ捨て問題②交通事故③森林破壊④麻薬⑤水質汚染といった虹の学校の生徒が抱える問題について、共に考え意見を交流させました。日本では当たり前のことが虹の学校では大きな問題としてあることを知ったり、自分達と同じような問題に共感しながら話し合ったりすることで、知見を広げることができました。



地球 SDGsの得意に興味がある?

卒業プロジェクトのタイの虹の交流で、無国籍や孤児のため、教育を受けられない子を見て、重要性を感じたから。

誰もが教育を受けられ、皆が思い描く夢を実現できる世界になってほしい。



【生徒へのインタビューより】

もっと自分の感じたことや考えたことが伝えられるように英語を勉強していきたいと強く思いました。また、スポーツや音楽には国境がないことや日本のアニメが世界に誇れるものであることも感じられて嬉しかったです。いろいろな国へ行って、もっと世界を知ってみたいです。

虹の学校との交流を通して、私は青年海外協力隊になるという夢を抱きました。難しいとは思いますが、資本主義を壊してもっと未来の地球に合った考え方や技術者に関係する仕事がしたいです。



モンゴル国 オードムモンゴル x 日本の中学生SDGsプロジェクト2022 エデュケーション学校



【やってみての感想】

★SDGsは地球と人々の平和と幸せを実現できる唯一の解決策だと理解しました。私は私の国を大きく発展させたいと思いました。そのために、日本に留学して、一生懸命勉強を頑張ろうと思いました。

★初めて、日本人と日本語で対話した経験は、本当に素晴らしく、興味深く、刺激的でした。日本人は親切で朗らかでとても愉快な人たちでした。自分の未来を真剣に考える時間が持てました。

【学校】オードムモンゴルエデュケーション学校 山本千夏

【参加人数】11名

【ねらい】未来マップをモンゴル人の中高生と日本の子どもがオンラインでつながって交流しながら作る。モンゴル人生徒たちにとっては、生まれて初めての日本人との対話・交流の機会となり、自分の未来の夢やキャリアについて考える初めての試み。

【工夫したこと】ワークブックをモンゴル語に翻訳して、日本語とモンゴル語を併記しました。日本語教師と教務主任、情報処理の先生にも同席してもらい、技術トラブルや言葉、ワークなどのサポートをしてもらいました。

【考察】オードムモンゴルエデュケーション学校の motto が「あなたの子どもの夢はなんですか？」で生徒一人ひとりの個性を大切に、夢や希望の実現を教育現場でサポートしていく方針なので「未来マップ」は、生徒や教職員が、各自の人生や社会を見つめ、探究し、お互いの考えを共有していくよい機会であるにとらえています。言葉が通じなくても、SDGsで地球の未来を考えるという軸を共有することで、オンラインでも「場」を共有し、心を通わせることができる、国際交流の可能性を感じました。

【仙台でコツコツと活動】キャリア教育をさらに豊かなものに！という思いから



未来マップファシリテーター
新藤 美貴子 Mikiko Shindo

大人になることを、そして自分を生きることを
楽しみにする子どもたちをもっと育てていきたい。

金剛沢小学校では授業の振り返りで、今自分がどんな気持ちでいるのか、その奥で何が満たされたのかに目を向けたワークを2年連続で行いました。昨年一番多かったのは、「自分の話を聞いてもらえた」ことや「挑戦した」ことが満たされて嬉しかった、という感想です。今年は、「自分らしさ」を発見したこと、それを発表することに「挑戦」したことがおもしろかった、という言葉があがりました。毎回同じプログラムを提供していますが、抱く感想はそれぞれ異なり、子どもたちの様々な価値観を刺激していることがわかります。知らなかった自分に出会っていく探究の時間、未来の想像図を創り上げるクリエイティブな時間、自分のことを友だちに話す挑戦の時間、友だちの願いを聞き合うわかち合いの時間。6時間の未来マップ授業の中には子どもたちの心が躍動する時間が詰まっています。

【ファシリテーターの思い】

小学校におけるキャリア教育の多くは、様々な職業の方の話を聴く、職場体験するなど、自分の外側の世界を知る内容になっています。そんな既存のキャリア教育に未来マップ授業を取り入れるとより豊かになるのではないかと考え、令和3年度より仙台市内で出張授業を始めました。4年度は新規1校、2回目1校、計2校の開催が実現しました。



仙台市立郡山小 5年生43名、6年生41名
仙台市立金剛沢小 5年生74名

小学4年生のICT活用授業！



【学校名】名古屋市立星ヶ丘小学校

【参加人数】4年生 2クラス 60名

【工夫したこと】

・限られた時間内(2日間計5時間)で担当可能な講師の兼ね合いもあり、1日目は紙のワークブックを使っての対面実施、2日目はオンライン配信での実施とし、またマップ制作はロイロノートを使うという形で、取り組みやすさや効果と効率とのバランスに配慮した。

・未来マップ完成までは時間的に難しかったため、無理をせず制作途中までで4名グループでの発表を行って締めくくり、完成版の発表は後日学校にお任せしての実施という計画にした。

【考察】

小学校4年生には難しく感じる面があるのではないかと心配もあったが、4年生なりに理解して楽しんで取り組む様子が見られた。特にマップづくりに入ると驚くほど集中して取り組む児童が多く、ロイロやネットの利用にもほとんど不安は見られなかった。後日の発表では、SDGsに関してもしっかりした考えを持って未来を描いている発表をたくさん見ることができた。

【次回への改善ポイント】

オンラインで画面を通しての授業となったクラスでは、対面実施のクラスと比べて説明が伝わりにくかったり、ファシリテーターと児童の一体感のようなものがやや弱く感じられるところもあった。音声聞き取りにくくなったりしたところもあったので、事前準備にもっと時間を使えるとよかった。



大規模校 9クラス311名の未来マップ授業はこうやって実現しました！

【学校名】名古屋市立植田中学校

【担当】キャリアナビゲーター ICDS 関

【参加人数】1年生 9クラス 311名

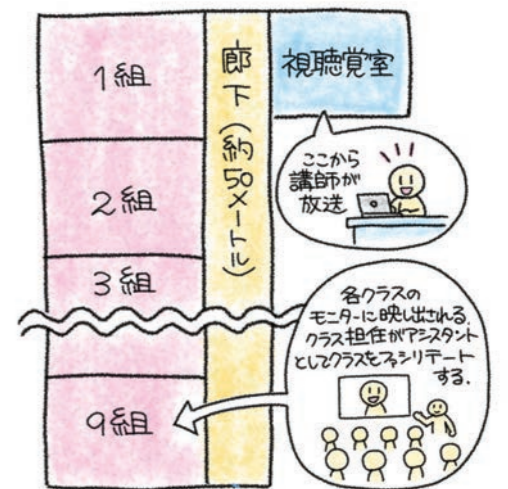
【未来マップ講師】秋田稲美、上井靖

【実施の経緯】中学1年生の集大成として、自分の将来の展望や自分自身について言語化したり、イメージ化したりする取り組みをしたいという希望があり、そんなときにMIRAI Mapに出会ってぴったりの取り組みができると感じました。

【工夫したこと】大規模校のため、完全にオンラインで行いました。ワークブック、マップの作成、発表まで全て生徒自身のタブレットにて、ロイロノートを活用して実施。

SDGsの観点からもペーパーレスの実現も視野に入れ、完全オンラインでの実施を決めました。キャリア・パスポートとも内容の関連性を持たせ、連続した学びの機会としています。

【考察】生徒たちにとって、今までは自分自身について深く考える機会自体が少なく、MIRAI Mapのワークを通じて、自他を深く知る・考える機会となったようです。また、それを言語化して発表するということが、夢の実現に向けて一歩を踏み出す意識づけになったように感じます。ワーク内容は、今回だけではなく、常に学級活動の中でも活用できるような内容ばかりですので、連続性をもって実施していけたらと考えます。



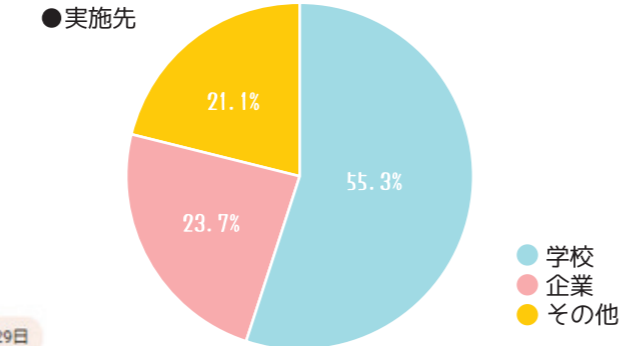
令和4年度『ひふみコーチ for school』実施一覧

- 実施報告書人数(ワークブックごとの延べ人数) 8,160人 実施回数93回
- 公開オンラインWS2回 合計20人(2022/7/31 5名、2023/2/5*モンゴル含 15名)

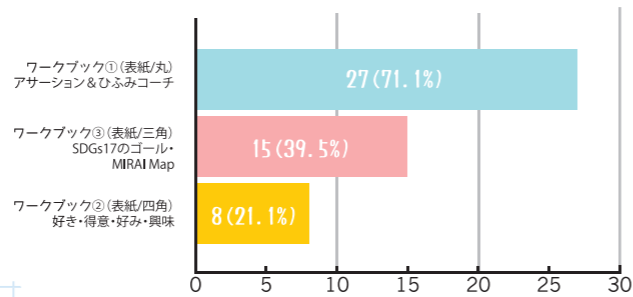
●実施日

2022年4月	2日 3日 8日 11日 2日 19日 22日 23日
2022年5月	9日 12日 23日
2022年6月	2日 9日 21日 26日
2022年7月	1日 8日 15日 19日 25日 2日 26日 28日 29日
2022年8月	3日 19日 20日 24日
2022年9月	12日 28日 29日
2022年12月	9日
2023年1月	27日
2023年2月	24日
2023年3月	14日 17日 18日

●実施先



●ワークブック



●実施校

仙台市立郡山小学校、仙台市立金剛沢小学校
 青森県立八戸北高校、青森県立百石高校、青森明の星高校
 青森市立筒井中学校、八戸市立根城中学校
 五所川原市立第一中学校、弘前学院聖愛高校
 弘前市立東目屋中学校、北海高等学校
 愛知教育大学附属名古屋中学校、名古屋市立神丘中学校
 名古屋市立八幡中学校、名古屋市立猪子石中学校
 名古屋市立植田中学校、伊豆市立修善寺中学校
 名古屋市立千種中学校、名古屋市立富田高等学校
 名古屋市立前津中学校、名古屋市立星ヶ丘小学校

●企業

株式会社エーワールド、JA全農青森、
 株式会社モルテン、社会福祉法人吉幸会

●その他

青森市教育委員会教員研修
 青森市教育委員会主催「未来ミーティング」
 八戸市保育士連合会
 青森市小学校教員研修会
 ひばりが丘のアフタースクール common
 サンフォルテフェスティバル
 オフィス未来 / 個人主催 / ひふみコーチ主催

完全ペーパーレスの「未来マップ授業」をオススメしています

私たちは長年にわたり、台紙に雑誌や写真を切り貼りして手作業でマップを作ってきました。しかし、最近では雑誌の廃刊や地球環境への配慮から、完全にペーパーレスな方法を提案しています。ワクワクする未来の世界をデジタルで表現することで、彼らの創造力が活性化し、自由に未来を表現することができます。デジタル化はより多くの情報やリソースにアクセスでき、子どもたちが自らの夢があたかも実現したような喜びを体験することで、子どもたちの可能性が限りなく広がります。

タブレットを使ってつくる



未来マップ授業案解説

未来マップ・ファシリテーター養成講座 全国キャラバン

昨年度まではオンラインで行っていた養成講座を、今年度はリアルで行っています。会うことで絆が深まり、智慧が共有され、未来マップが全国に広がっていきます。ぜひ、あなたの街にも伺いたい。全国キャラバン中です。



<未来マップ・ファシリテーター>

津村証広/水木慈恵/川原洋子/村上桃香/新藤美貴子/三上智則/郷薫/本田善子/柴田智美/加茂有美/饗庭貴子/外井亜希/葛西愛子/瀧崎優佳/遠山昌子/西野靖江/植村美枝/野間秀香/田淵康司/鈴木恵美子/渡部友紀/西村昂介/那須真季/青山里恵/小川智美/岩崎笑美/古賀昌代/鳥谷部愛/森本朱美/藤田恵/佐藤紀子/シュラム麻美/脇田康二郎/星亜香菜/角素子/松山剛士/古浦枝里/望月愛巳/清水博子/加藤恵美/玉元宗児/山崎由季子/駒走好恵/廣瀬千子/大槻佐智子/荒川純一/荒川真由/吉原伸於/波多江愛/末広成志/富岡旭美/花谷美香/對川道香/藤岡登美子/川口千恵子/市川慶輔/秋橋仁美/中村純子/杉山由里子/鈴木昌美/大竹由美子/杉本ひとみ/柏木博州/池崎晴美/高野亜紀子/岩澤佳子/長谷川恵美/印田敦子/鈴木祐子/阿曾朋子/河本やす代/上井靖/田中弘美/柴山加奈子/茅野武久/長谷川亮/矢島かおり/笹山好美/加藤千江里/吉田恵/榊加織/前田恭子/小野瀬竜也/深谷潤一/渡部博司/田口剛/沖田理華/光岡雅代/伊藤仁/濱博江/下出万美子/山下亜佑美/村瀬由美/徳増晴奈/東杏美/藤井万巳/多和田泰久/関智奈/石田健一/大江ちひろ/國分尚子/前田佳子/佐野嘉昭/梶田知佐/市川裕二

MIRAI Map(未来マップ)の授業は、3冊のワークブックを使います。

STEP1 夢を描いて行動しよう



STEP2 自分をまるごと愛そう



STEP3 対話を通してつながろう



* 3冊とも、英語版もあります *